



安原のいま
 総人口 4,695人 (前年比+20人) 【男 2,266人 女2,429人】
 安原地区公民館 〒390-0802 松本市旭2-11-13 TEL 0263-39-0701

松本盲学校と落語交流会



落語を楽しむ参加者たち

6月19日、松本盲学校と安原地区住民との落語交流会が安原地区福祉ひろばで行われました。松川村に拠点を置き

活動しているグループ「風まんだら」から松富久亭登さんと安原在住の山幸亭豆大福さんが「つる」「寄合酒」を演じました。2人の演目に会場は大きな笑いに包まれました。生徒の感想は、中等部1年平林太一さんは「落語は本で読んだことがあったが、生の話を聞くと違った想像をすることができた。話芸を楽しめた」。高等部2年の中原琴乃さんは「ありがとうございました。落語は初めて聞きました。しゃべり方が自由で頭の中で

思い描くことができた」と述べました。

生徒からの質問は「話をするとき忘れてしまったらどうするのか」「自分は初めてで想像していた展開と違って夢中になった。夢中にさせるコツはあるのか」などたくさん出されました。

地域の方は「落語を通して皆さんの心を掴んでいた。ストレスを解消するのには笑いが必要だ」「私たちと違った絵の見え方をしている。お子さんたちは落語を心の中で聞いて想像している。良い質問であった。自分たちもやってみたらいい。応援します」と話していました。



金生遺跡についての説明を受ける受講者たち

広がる学びと会話

安原地区パソコンくらぶ

安原地区公民館で活動するクラブの一つに「パソコンくらぶ」があります。毎週火曜日に5〜8人が集まり、講師の山川豊さんの指導で基本操作から応用の習熟まで熱心に取り組んでいます。

7月9日の講座は「初心者向けエクセルの基本操作」でした。操作性と優れた機能を兼ね備えた特徴などについて

説明を受けたあと、参加者は画面に向かってマウスを動かしていました。

講座は講義形式と、山川さんへの質問などで学びを深める「なんでも相談会」を交互に開きます。参加者は「難しいが学ぶことは楽しい」「使いこなせるようになって暮らしの中に生かしたい」など

意欲的です。山川さんは「パソコンの勉強もだが、受講する人たちが同士の会話と交流が広がればと願っている」と話しています。



熱心にパソコンに向かう受講者たち

「甲州街道を探る」テーマに研修 歴史研究会

安原地区歴史研究会（矢野喜世登会長）の研修会が6月21日に行われ、会員や一般住民合わせて22人が「甲州街道を探る」をテーマにした遺跡見学や街道散策で学習を深めました。

参加者はまず山梨県北杜市にある国史跡の金生遺跡を訪ねました。縄文晩期の特徴と

いわれる壁立式土葺構造の復元住居や石棺の遺構などを見学しました。

中央道長坂IC北側にある同遺跡からは、大規模な祭りの場や土偶など祭祀にまつわる道具類が多く発見されています。北杜市学芸員の長谷川誠さんは「人々が生活した住居跡と墓、祈りの場が一体となって出土した例」などと特徴を説明しました。

同市考古資料館では旧石器時代から縄文、弥生、古墳時代を経て中世に至る出土品や資料を見て回りました。

甲州街道の台ヶ原宿では1キロ余の町筋を歩きました。脇本陣屋敷跡や旅籠、一里塚といった往時の原型を残した風情を体感しました。

矢野会長は「縄文文化が発達したベルト地帯での研修となった。縄文人の暮らしや旧街道の様子を学ぶことができました」と話していました。

特製ランチに舌鼓

しなの木教室と交歓

公民館長会

しなの木教室と安原地区町内公民館長会の交流会が、5月14日の館長会総会に合わせて地区公民館で行われました。

3年前に松本盲学校内に開設された松本養護学校しなの木教室は、「松盲とともに」地域とともに・仲間とともに」を目標に、教科学習と作業を半分ずつ実施しています。学年ごとに週1回製造するパンは、毎週木曜日に地区公民館



和やかに特製ランチで交流

で販売され好評です。

この日は教室の3年生が訪

れ、特製パンの手作りランチで昼食会。生徒から教室の概要について説明を受けた後、おいしいランチに舌鼓をうちました。「パン作りでは同じ大きさに生地を分割するのが一番難しいです」など、生徒や教師と話をしながら楽しい時間を過ごしました。

天白町の澤柳清一さんから自家焙煎のコーヒーの差し入れもあり、おなかも心も満たされた様子でした。

教室と地域との交流をさらに広げていくために、町内公民館長から各町会に発信してほしいとの希望を受けて今回の昼食会が企画されました。しなの木教室は、「パンの他



ボリュームたっぷりのパンランチ

にプラスチックバンドや水引製品なども販売しています。地域の皆様のご利用をお待ちしています」と呼び掛けていました。

安原地区公民館

信大キャンパス探検隊⑫

盛大に創立記念式典

信州大学は創立70周年、旧制松本高等学校100周年を迎え、記念式典を6月1日に行い、まつもと市民芸術館で行いました。

松本医科大学、旧制松本高等学校、長野師範学校、長野青年師範学校、長野工業専門

学校、上田繊維専門学校、長野県立農林専門学校を前身校とし、昭和24年に新制大学として発足しました。それぞれに歴史を有し、伝統を受け継ぎながら歴史を刻んできました。自然豊かな環境で、多様な文化や習慣を持つ仲間と交流し、種々の力を身に付け、送り出した卒業生は10万人を超えます。

現在は信州全域に点在する5つのキャンパスに8学部があり、地域と連携しながら理念に基づき、地域貢献、教育、

研究に取り組んでいます。

式典では未来社会に向け必要とされる人材育成を目指すため、教育、研究、社会連携グローバル、大学運営、医療の観点からのビジョンが発表されました。濱田州博学長は「地域にとって信州大学があつて良かったと思われよう前進していく」と式辞を述べました。

節目に合わせ、学生や教職員らに一体感を生む目的で制定された「大



レウイシア

北米原産の高山植物
レウイシアを楽しむ
スベリヒユ科レウイシア属の多年草。多肉質の根をインディアンが食した植物。戦時下、日本でも同じ仲間のスベリヒユを食べた人もいました。寒さに強くサーモンピンク、ピンク、白など花の色、形、模様も千差万別、水切れ寒さに強い性質で花期は4月ころです。
11月ころに開花株が出回り、美しく透明感のある花は神秘的で育てる価値があります。
鉢山の岩場に育つなど、水はけの良い土壌を好み、夏は半日陰で乾燥気味に育てます。肉厚で光沢感のある葉も觀賞の対象で、12枚ほどの花弁は可愛らしく、美しさは多くの人を魅了します。
この時期、園芸店で簡単に手に入ります。